

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|---------------|---------|------|-------------------|-------------------|
| 計画主体 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 実施期間 |
| 御前崎市 | 222232 | 1 | 平成24年度～ 平成28年度 | 平成24年度～ 平成26年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 静岡県 御前崎市 高松地区 | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|-------------|---------|---------|---------------|----------|
| 交流人口の増加 | 108.33% | 250.00% | 230.77% | H28 42万人 |

(コメント)

来場者数42万人を2年目で達成し、市内のみならず市外への知名度も上がって、ますます来場者は増えるものと見込まれる。地域内農産物の対面販売やイベントを通して、更なる地域間交流を促進させたい。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 |
|--|-------------|--------|------------------------------------|
| 受入機能強化施設 | 実施設計業務 | 1式 | 御前崎市 |
| | 地域連携販売力強化施設 | 1棟 | |
| | 農林水産物処理加工施設 | 1棟 | |
| | 交流研修施設 | 1棟 | |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 |
| 御前崎市 | 平成24年度 | 平成26年度 | 平成26年4月1日一部供用開始 平成27年4月1日全部供用開始 |
| 事業の効果 | | | |
| 販売イベントを開催できるスペースを持った地域連携販売力強化施設(以下強化施設)は、市内の利用者だけでなく近隣市町や県外からのお客を誘致するのに大きな効果をあげている。施設内で地域野菜のレシピや試食販売をすることにより、農家と消費者の距離が縮まっている。農林水産物処理加工施設(以下加工施設)で作られた商品が多くなることで更なる効果が期待できると考える。 | | | |

3 総合評価

(コメント)

当初目的の高松地区に人の流れを作ることに成功した。来場者を年々増加させられるよう飽きのこない施設運営をしていく必要がある。真の地域間交流事業として、強化施設での農家と消費者の交流、処理加工施設で作られた商品をとおして交流、更には交流研修施設（以下研修施設）を使用し、農家～来場者への野菜栽培等の講習や市民サークル活動への農家の参加等の計画づくりを進め、活発な地域間交流を進めるべきである。

また、強化施設で販売される地域野菜の良さを市外等にPRし、遠方からの来場者も増やす努力が必要である。

4 第三者の意見

(コメント)

事業活用活性化計画目標である交流人口の増加は、目標を達成しております。

そのことは市内だけでなく近隣市町や県外からのお客の誘致に成功していると評価します。当施設は農家間の交流の場としての役割も担っており、そこから新たな農業チャンスが生み出されたケースもあると聞いています。今後、更なる交流を促進するため、強化施設と加工施設、研修施設の三位一体となり取り組みを進めていただきたいと思います。地域野菜の良さをもっとPRし、御前崎市の農業が更に活性化することを期待します。

地元農業者
市農業委員
施設利用者